

承認番号	4320
研究課題名	思春期・成人期のターナー症候群の骨密度に関する多施設共同後方視的研究
研究の意義・目的	ターナー症候群の患者様では卵巣機能不全の頻度が高いことが知られています。女性ホルモンが不足するため、成人期で骨粗鬆症になる方がおられます。私たちは、ターナー女性の方々の骨粗鬆症について、小児期から何か予防できる方法がないか調べます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後 ～ 2020年3月31日（西暦）
研究対象者の範囲	大阪市立大学医学部付属病院、東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、大阪母子医療センター消化器・内分泌科、横浜市立大学附属市民総合医療センター婦人科の4施設いずれかで、1994年4月1日から2018年10月31日までの間に腰椎DEXA法で骨密度測定されたターナー症候群の患者様が対象です
お願いする内容	共同研究機関に頂いた情報を提供します。 共同研究機関から情報の提供を受けて研究します。 他の施設が共同研究の代表施設として研究いたします。
	血液検査データ、骨密度検査結果、診療記録を使用させていただきます
頂いた試料・情報の提供方法	特定の個人を識別できない形で提供します。
頂いた試料・情報の管理について責任者	東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科 医員 糸永 知代
この研究を行っている施設（共同研究機関）	東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科 医員 糸永 知代 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 講師 西垣 五月 大阪母子医療センター消化器・内分泌科 副部長 川井 正信 横浜市立大学附属市民総合医療センター婦人科 部長 榊原 秀也
代表施設のURL	東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科 http://www.byouin.metro.tokyo.jp/shouni/section/naibunpitu.html
研究の成果を公表する方法	研究成果は研究対象者を特定できないようにした上で学会や学術雑誌等で公表いたします。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	郵便：〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 電話：06-6645-2326 西垣五月